

学校生活を豊かにする学社融合の推進

～地域の環境を生かした農業体験活動の取り組み～

【主催】

八女郡立花町立白木小学校

【期日】

通年

【場所】

白木小学校、校区内

【対象】

白木小学校児童

【ねらい】

学校の教育課程や地域の自然や行事の中で、児童に地域の資源・特徴(ひと・もの・こと)を生かした農業体験を行わせることを通して、自ら学び、やさしくたくましい子どもを育成する。

【内容】

1 児童の実態

素朴で活発な児童が多いが、欠席者数が多く、表現力の向上が課題である。

2 学社融合の取り組みで求めるもの

①確かな学力

自ら学ぶ力、物事を認識する力、知識の習得・定着

②豊かな心

人や自然にやさしく思いやりのある子ども、協力する子ども、感謝の心をもつ子ども

③健やかな身体

がまん強い子ども、物事をやり通す子ども

3 学社融合の内容と実践例

①学校教育支援型…学校が中心となる内容

ア 1年生「めざせ、あそびの達人！」(合科:生活科・国語科)

「遊びの名人」のおばあちゃんに来ていただいて学習を行う。遊びの知恵を学び、ふれあいの中で表現力を高める。

イ 6年生「竹の循環型社会を考える」(総合的な学習の時間)

個人の課題の解決に向け体験を行ったり調べたりした。その中で竹のもつよさに気づいた。

②社会教育支援型…地域が中心となる内容

ア 通学合宿 イ しらきアンビシャス広場 等

③生涯学習教育支援型…お互いが協力して実施する内容

ア 白木の秋の収穫祭

農業体験活動の集大成として学校主体で地域の協力を得て始めた。午前には児童の発表、午後には食バザーを行う。3年目には、地域で実行委員会が立ち上がった。

<収穫祭の様子>



竹太鼓



食バザー



1年生「めざせ、あそびの達人！」
おばあちゃんに質問しています



6年生「竹の循環型社会を考える」
筍ほりをして学習課題をつくります



しらきアンビシャス広場

【成果】

<学校において>

○欠席児童の減少 ○学習意欲の向上 ○あいさつや言葉遣いの改善 等

<地域・家庭において>

○連帯感、地域で子育ての意識 ○高齢者の方など学習支援者が元気に 等

【課題】

○年間指導計画の見直し・充実 等

【問い合わせ先】

八女郡立花町立白木小学校

TEL 0943-35-0014